

令和4年(ワ)第891号 国家賠償請求事件

原告 ラトナヤケ・リヤナゲ・ワヨミ・ニサンサラ・ラトナヤケ ほか2名

被告 国

5

## 原告ら第16準備書面

2024年11月20日

名古屋地方裁判所民事第10部合議口B係 御中

10

原告ら訴訟代理人弁護士 川口直也

### 15 1. ウィシユマさんの栄養摂取状況について

原告らは、2021年1月29日頃(以下、特定のない限り日付は2021年を指す)からの、ウィシユマさんの栄養摂取状況について、看守勤務日誌(甲85号証の3ないし5)、A氏との面談状況等に関する看護師作成メモの抜粋(甲4の3、別紙6)に記載されている、摂食、摂水、嘔吐に関する情報を抽出し、  
20 被収容者給食食簿(甲129)や日本食品標準成分表などからそれらの栄養価を算出して(計算の根拠については甲130の4参照)、一覧表(甲130の1ないし3。それぞれ、「カロリー摂取表」(甲130の1)、「水分摂取表」(甲130の2)、「ビタミンB1摂取表」(甲130-3)という。)を作成した。  
これにより、以下の状況が明らかになった。

### 25 (1) 摂取カロリー状況について

30代の成人女性が1日に必要とするカロリーは、自宅でほとんど外出しない

場合であっても1750kcal必要となる（甲104の1・84頁、参考表2）。

5 カロリー摂取表によれば、ウィシュマさんは、1月下旬頃より、食事の摂取量が著しく減少したことが見て取れる。2月1日から7日までの平均摂取カロリーは497キロカロリーに過ぎず、しかも、ほぼ毎日嘔吐を繰り返していることから、現実に栄養として摂取できたカロリー数は、極めて微々たるものであることが推認される。その後、2月15日までは400～600キロカロリー程度の摂取カロリーとなるが、その後は2月22日まで、50～200キロカロリー程度の日が続く。全く不足していることは明白である。2月23日以降、日によっては、1000キロカロリー程度摂取している日もあるが、いずれにしても、必要な摂取カロリーの約半分であり、しかも、ほぼ身動きできないほどに身体が衰弱していた状況において、胃腸の機能がどれだけ機能していたのかは疑問である。

15 ウィシュマさんの体重は、収容時から5か月間で体重の15%が減少したことに加え、1月22日から2月23日までの約1か月で、72.1kgから65.5kgと、6.5kgも一貫して減少している（甲4の1，27頁）。この体重の減少率からは、長期にわたってウィシュマさんの栄養摂取量が低下していたことがうかがわれ、さらに、食事の摂取量が（不十分ながらも）記録されるようになってから以降は、少なくともこの期間、ウィシュマさんが、必要なカロリーを摂取できていない状態が続いていたことが客観的に明らかである。

## (2) 水分摂取状況について

20 水分については、1日あたり、1130g(食物由来)、1100g(飲料由来)（甲104の2・374頁、「2 水の必要量を算定するための根拠」）を要する。水分摂取表上、これらの数字を満たす日数は少なく、特に、官給食をほとんど摂取できていない状況にあったことに鑑みれば、恒常的に水分摂取量が不足していたことが見て取れる。

## 25 (3) ビタミンB1摂取状況について

ビタミンB1については、0.32mg/日を下回ると、脚気が出現する恐れが

あるが、0.7mg/日を投与すれば、速やかに血中ビタミンB1濃度は上昇に転じる（甲106・213頁「参考資料」）。

5 ビタミン摂取表によれば、ウィシュマさんの場合、2月1日から3月6日までの平均は、嘔吐を考慮しない数字で0.22mg/日であり、全体として0.32mg/日を下回っている。一方、0.32mg/日の基準を満たすのは、2月1日（0.69mg（ただし、1日に8回嘔吐））、2月23日0.52mg/日、2月24日0.51mg/日（1回嘔吐）、2月26日0.55mg/日、2月28日0.61mg/日（1回嘔吐）、3月2日、0.60mg/日、3月3日0.61mg/日、3月4日0.57mg/日、3月5日0.5mg/日のみであり、いずれにしても、ビタミ  
10 ンB1濃度を速やかに上昇させる、0.7mg/日の摂取には不足している。

## 2. まとめ

ウィシュマさんは、収容時から継続して体重が減少し、その上で1月下旬頃から、食欲不振や吐き気を訴えるようになり、さらに体重の減少が顕著となっている。摂食状況の記録が残されている2月1日以降だけでも、ウィシュマさんが  
15 摂取していた可能性のある栄養の内、少なくともカロリーや水分、ビタミンB1は、明らかに30代成人女性の必要量を下回っており、かかる状態が、継続していた。このことは、2月15日のウィシュマさんの尿検査において、カロリー及びビタミンB1の欠乏状態示唆するケトン体3+が検出されていることと合致する。

以上